

進む阿波おどりでのブランディング

商店街が核となる 地域ネットワーク化始動

JR高円寺駅前北口広場に阿波おどりのモニュメントが設置された。杉並区の高円寺銀座商店街協同組合(通称「高円寺銀座商店街久保田潤一理事長」)が、2023年度の東京都「未来を創る商店街支援事業(3カ年計画)」を活用して進めてきた取り組みの一つだ。

高円寺銀座商店会(協)

高円寺の阿波おどりは、約70年前に「高円寺おどり」として始まった。地域に支えられながら発展し、いまでは毎年100万人が訪れる街の文化として定着している。

このほど設置されたモニュメントは、踊り手が舞う一瞬を切り取った姿が特徴だ。ランニングシューズやスマートフォン、カメラは「着付けのタイムイン」で、高円寺の阿波おどりに加えて、高円寺の街の文化として定着している。



オリジナルの着物を着用した男女一対の阿波おどりモニュメント。中央の高提灯の上にあるA1カメラが人流データを収集する。(高円寺銀座商店会提供)

- #### 6事業の概要
- ①拠点整備**
駅南口に阿波おどりの練習や会議に使えるコミュニティスペースを開設
 - ②ブランド開発**
山形県飯豊町の酒蔵と連携し、阿波おどりの「キレ」をイメージした日本酒「高円寺のお酒」を試作。地域発の特産品開発を進めた
 - ③モニュメント設置**
素材は軽量で補修しやすいFRP(繊維強化プラスチック)。3月25日に行われた完成披露セレモニーでは、演奏や「高円寺のお酒」の振る舞いが行われ、新たなランドマークの誕生を祝った
 - ④ネットワーク会議**
地域の一体化と課題解決を目的に会議を実施。まちづくり会社「(一社)まちづくりラボKOENJI」の発足につなげた
 - ⑤舞台公演**
冬場にセシオン杉並ホールで阿波おどりの舞台公演を開催。「組踊り(くみおどり)」の魅力発信した
 - ⑥スタンプラリー**
高円寺連協所属31連のARマーカーを巡るデジタルスタンプラリーを実施。舞台公演に合わせて行い、話題作りと商店街の回遊を促した

青年部

今年度から北区と共同で「商店街地域応援事業」を始めます。事務作業の負担が大きいため活動が滞る商店街や、担い手不足でイベント実施を見送る商店街もある現状に

単会に寄り添って



北区商連青年部 部長 田村 哲朗さん

8月上旬の北区平和祈念週間に「すいとん」の試食会や秋の「さくら」や「北の民謡」への出店、研修会を女性部と合同で実施しています。24年度から商店街の魅力を考えるセミナー事業も始めました。講師を招いてお話ししたネットワーク

青年部ではこのほか、ショップ形式で、行政の協力もあり、大学生も参加しています。

青年部長に就任してから、まもなく1年になります。仲間を増やすため、同世代に声をかけ、入会チラシも作りまし。区内の若手も、それぞれ関心事や悩みがあるはず。そうしたい思いを共有する

「家族と行くキャンプが楽しみ。冬は仲間と恒例のスキー旅行へ」

たけのこ汁300杯でおもてなし

笠原シェフの味に長蛇の列

品川区の武蔵小山商店街連合会(武蔵小山商店街振興組合、武蔵小山一番通り商栄会、小山26号線通りの振興会)主催の「第12回ムサコたけのこ祭り」が4月19日、東急目黒線武蔵小山駅前広場ロータリーなどで行われ、多くの来街客でにぎわった。江戸から大正時代にかけて、たけのこの産地だった武蔵小山の歴史を伝えるとともに、武蔵小山の知名度向上と各商店街を含めた地元さらなる発展を目指して始まったイベントで、たけのこ汁3000杯の無料配布や音楽・ダンスステージ、各商店街によるマルシェなどが行われた。森澤恭子品川区長も訪れ、「商店街でのお買い物もぜひ楽しんで」と呼びかけた。



そろいの法被とムサコの「たけ丸」の帽子などで雰囲気盛り上げる(左から)半田理事長、武蔵小山一番通り商栄会の狩野裕会長、三上連合会会長

千葉県大多喜町産のたけのこを使い、地元武蔵小山出身の日本料理人、笠原将弘氏が作るたけのこ汁は、配布開始の約2時間前から行列ができる人気ぶりだった。地元女子高校生3人組は「めっちゃ楽しみにしていて、毎年並んでいます。すごいシェフが作っていると母さんから聞きまして話した。目黒区から訪れた家族連れは「パルム(武蔵小山商店街)のアプリでお知らせがあるので、もう5回以上来ています。スタンプラリーなどのイベントにも参加している」と語った。

武蔵小山(振)の半田理事長は「楽しみにして下さっているお客様が大勢いる。その期待に応えるのが私たちの役割と述べ、(秋の例大祭の)小山神社祭に次ぐイベントに育ってきている。武蔵小山のさらなる発展につなげたい」と話している。



東京都から借ってきた直径約2.5mの大鍋からたけのこ汁を取り分ける笠原氏中。ムサコといは武蔵小山だの「コル&レスポンス」でイベントを盛り上げた



雨の中行われた完成披露セレモニー。片山さつき財務大臣来賓・関係者が参列した(高円寺銀座商店会提供)

TOSHINREN-information

魅力ある街づくりのためには “振興組合化” から!

■ 振興組合設立のためには?

振興組合を設立するためには、発起人が**7人以上**おり、次の3つの要件を満たすことが必要です

- ① 小売商業、サービス業を営む者が **30人以上** 近接して商店街を形成していること
- ② 他の商店街振興組合の地区と重複しないこと
- ③ その地区内の**組合員有資格者の2/3以上が組合員**となり、かつ、**総組合員の1/2以上が小売商業またはサービス業**であること

■ 振興組合設立のメリットは?

- ① 人的なまとまりが強くなり組織力が強化されます
- ② 組合運営および会計が明確化され新規加入促進につながります
- ③ 法律に基づく法人であるため、社会的な信用が高まります
- ④ 国や都、区市など行政の助成金や施策が活用できます

詳しくは 東京都商店街振興組合連合会 組織課へお問い合わせください TEL:03(3542)0231